



撮影では自然体な笑顔がたくさん振り撒いてくれました！表紙とはまた違った、川野選手の明るい魅力の詰まったショットが盛りだくさんです！！

小野生奈選手とのYouTube動画撮影にて！

YouTube動画公開中!!
チェックしてください!



30thファン感謝企画
Boat Beat Press
バックナンバーを振り返る!

第1弾 30周年を迎えたポートビートプレスは今回で353号! これまでの貴重なバックナンバーを振り返ります!

編集部が選ぶ
表紙デザイン
ベスト3!!

1997年4月発行 vol.37
アンディ・ウォーホル調でターンマークのデザインが印象的!



1995年12月発行 vol.21
ポートレース場のイメージが変わりそう。このビジュアルは今のZ世代もきゅんとしそうです。



1996年9月発行 vol.30
シティポップ風のイラストもノスタルジックでいいです…。

あの人の若かりし時代が…!

編集部スタッフA・K



▲1999年9月発行 vol.66

A: こちらの女性は日高逸子選手です!

K: か、かわいい…。

この頃から強いまなざしを感じますね。インタビューもしっかりされていて、ポートレーサーとしての夢も語られていて。過去の選手インタビューを選手の方にも振り返っていただくと思い出にもなるかもしれないですね。お二人とも大活躍されていて本当に素晴らしいです!

A: これは誰だと思いますか?
K: え、美男美女…!!!!
A: 昔はこんな感じで中面がアイドルのポスターカレンダー風になってたんですね。すごい!まさかの…
K: そう、田頭実選手です!
A: しぶい!さすがの貴録~!



▲1995年1月発行 vol.10

選手DATA

得意な水面 福岡3場

福岡県内は3場とも苦にしないです。でも一番走っているのは芦屋です。あまり良くない状態でも立て直せます。地元3場は得意だと思います。なんでですかね?気持ちですかね!走り方など特性が分かっているのは大きいです。

苦手な水面 江戸川

走り慣れていないから、走り方が分かりません。あまり走っていないのがあるかもしれません。江戸川水面を乗れる人は本当にすごいです。

見てほしいコース 6コース

6コースです。1着の回数は少ないけれど、6コースから追い上げるレースを見てほしいです。後ろの方からになってしまいうけど、徐々に追いついて最後は2着、3着という結果が理想です。追いついて連に絡むレースは好きだし、得意です。

profile

川野 芽唯

福岡県飯塚市出身
1986年3月25日生まれ
身長:163cm
体重:47kg

2007年5月 若松タイトル戦デビュー
2009年1月 若松一般戦でデビュー初勝利
2010年12月 児島女子リーグでデビュー初優勝、初優勝
2015年12月 福岡クイーンズクライマックスでG1初優勝、初優勝
●通算優勝回数86回 ●通算優勝回数16回
※データは2024年5月6日現在

これがわたしの勝負メシ

おにぎり
一番好きなのは、おにぎりです。米が大好きです!腹持ちが良く、ご飯だけだと、そんなに太らないんですよ。お肉が一膳だと太ります。私にとっては「お米ダイエット」です。ご飯に塩だけでもいけます。福岡に寄ったときに、辛子高菜、明太子を必ず買って帰ります。最近のこだわりは、その2つを合わせたものです。沖縄に住んでいても、福岡の食べ物は好きです。沖縄に住んで、ソーキそばも食べます。好きなのは「キムチ野菜そば」です。私のインスタにも出てきます!

Instagram @mei.kawano



Mei Kawano
川野 芽唯

interview

1走1走が勝負。後輩たちの道しるべになりたい

福岡は2015年のクイーンズクライマックスで初めてG1を優勝した場所だ。これまでの人生などを振り返り返ってらうと同時に、夏の一大一番、福岡で開催されるレディースチャンピオンへの思いを語った。

すこくうまかったということにしていました。でも本当にみんなうまいです。優しいし、いい人ばかりです。同期はみんな応援してくれれます。お互いに一生懸命やってきたから、一緒に喜べる。だから、みんな強いんです。

2015年、福岡のクイーンズクライマックスでG1初優勝

その年も特に変わったことはありませんでした。毎日必死に生きていた感じでした。いい成績を取ったと思えば、(勝率)3点台の成績の時もありました。初優勝は早かった(2010年12月、児島女子リーグ)ですけど、それでA級になれたかといえ、そうではなかった。でこぼこの道を歩んできた結果、それが結びついたのが、その年でした。自信がついた頃でした。

沖縄に引越したのもその頃

9年目です。母親と、沖縄に引越したい」と話をしていました。それで、(2015年

(の)年末に優勝できたら、それを頭金に引越そうと言ったら、優勝したんですよ。「それなら本当に引越そう」という話になりました。自分でもすごいと思います。そういう流れ、運命だったんですね。

G1タイトル後に苦勞もありました

長かったですね。ケガもあったけど、調整面もありました。何の足に特化するか、ベラも試行錯誤して、バランスを取ってやっていく結果、出入りの激しい結果となりました。去年(2023年)から、(G1で)2回優勝して、全体にかみ合っている感じがします。失敗もしましたけど、それを修正する年でした。ベラもそうだし、旋回もそうだし、気持ちもそうです。今は同時進行で考えています。1つのことをするのに、1つだけでは対策にならないのに気づきました。その3つを同時に考えて、実行できるかできないか、ですね。

福岡水面は?

1Mは、うねりがあるし、2Mもビット離れ、みんなが走った後の返し波があります。でも、そういうのを感じないんですよ。怖さはあります。それが福岡なので、乗り方、イメージを変えて乗っています。握り方も変わります。風が強いときに同じような乗り方はできません。

今後の進む道は?

後輩たちの道しるべになりたいと思っています。私の背中をみて「こんなレーサーになりたい」と思われたいです。教えるときも「こうしよう」という命令ではなく、きっかけを与えられるようになりたいです。私が教えることは少ないかもしれませんが、何か良くなるきっかけになれば、いつも考えています。そういう存在になりたいです。

水面がいいときもあります。その時は迷わず行きます。うねりに逆らわずにスピードに乗れたら強いんですね。得意、不得意というよりも「そう乗れたら、かっこよくない!」と思っています。「かっこいいレースがしたい!」というのは本音です。

8月には地元福岡でレディースチャンピオン開催

本当はドリフトに乗れるぐらいの点数が欲しかったです。でも地元なのでファンの方々は期待しているし、施行者さんも「福岡の選手が優勝するのを見た」と思っているはずなんです。そういう期待に応えるようなレースをしたいです。1走1走が勝負なので、後悔のない走りができるように、心に留めて走りたくたいです。

Present

読者プレゼント

いずれかのグッズが計9名様に当たる!!



川野芽唯選手または、小野生奈選手のサイン入り

オリジナルTシャツ 4名様

オリジナルQUOカード 5名様



応募はこちら